



2 エッセイ／“おかね”を語る
正しいお金 ノンフィクション作家 今井美沙子



4 インタビュー／扉を開く
一番大事なものは感謝力 プロゴルファー 古市忠夫



9 地域の底力——下條村
子供の歓声が響く村・下條村を訪ねて 長野県下伊那郡下條村

16 対談／守・破・創
金融機能を強化し、日本の未来を明るくする
株式会社東京証券取引所代表取締役社長 齊藤 惇
日本銀行総裁 福井俊彦



20 池上 彰のやさしい金融経済教室
国債市場と日本銀行

24 にちぎんのある街から
松江——八雲がこよなく愛した街



28 貨幣の歴史学
中世日本と中国の錢貨流通の共時性 東京大学東洋文化研究所教授 黒田明伸

32 知るぼると招待席
みなさんも金融経済等講演会に参加してみませんか？

34 トピックス

35 AIR MAIL from PARIS
フランスにおける文化政策の一側面

表紙のことは

大正七年三月一日、日本銀行一五番目の支店として松江支店が開設された当時、人口四万人の松江市民が、提灯や国旗を掲げてその誕生をお祝いしてくれたという。堀川に面する殿町に建てられた最初の店舗は、地盤沈下のため昭和十三年に長野宇平治の設計で改築され、山陰では初めてエレベーターが設置された本格的なモダン建築として話題を呼んだ。昭和五十六年四月に母衣町の現店舗に移転。旧店舗はその後、松江市によって当時の風情をそのままに改築され、現在は観光商業施設「カラコロ工房」として活用されている。母衣町の新店舗の外観は、松江に残る武家屋敷や出雲大社をイメージして設計された。前庭の植え込みには県木のクロマツが、建物の外周には地元産の大根島石の石垣が巡らされ、内装には地元布志名焼の壁面レリーフを飾るなど工夫が施され、神代以来の古い歴史が刻まれてきた落ち着いた風光の中で、静かな佇まいを見せている。

